



校長室だより

令和5年度 竜北西部小学校 第9号

文責 校長 服部 正

学校HP <https://es.higo.ed.jp/ryuhokuw/>

【随時更新中です。是非ご覧下さい!】

【学校教育目標】「やる気・ゆう気・根気!一人ひとりが輝く竜西っ子」～ふるさとを愛し、夢に向かってよりよく生きる児童の育成～

1年間の成長を振り返る ～学校教育目標の具現化を検証(県学力・学習状況調査、学校評価アンケート等から)～

本年度の学校教育目標「やる気・ゆう気・根気!一人ひとりが輝く竜西っ子～ふるさとを愛し、夢に向かってよりよく生きる児童の育成～」について、熊本県学力・学習状況調査や学校評価アンケート等の結果をもとに、振り返りを行いました。

学校教育目標に掲げる知・徳・体の「3つの気」に基づき考察してみると、どの学年においても成果が見られました。

特に、本年度は、学力に関する事項が大きく向上するとともに、生活態度や健康への意識がとて改善しました。子どもたちの自覚や自立(自律)化が進んだこと、ご家庭の積極的な関わりや協力のおかげにより充実した一年となりました。

【確かな学力】(知:やる気)

<検証データ>

熊本県学力学習状況調査(3～6年)

標準学力検査(1～2年)

学校評価アンケート(全学年)

<教科の状況>

国語…5つの学年が全国平均を上回る

1つの学年が全国平均と同程度

算数…4つの学年が全国平均を上回る

2つの学年が全国平均と同程度

前年度比(学年)…全学年が上回るか同程度

前年度比(個人)…国:65%、算:57%向上

<学習状況 ※向上したものの例>

「授業における主体性」

「計画的な家庭学習」

「学習規範」

<保護者の評価>

保護者の96.5%が「児童は、自ら学び自ら考えるようになっている」と回答

<今後の対応>

家庭学習の質(時間の長さではない)、どのような目的をもって、どのような状態で、何に取り組むか中身を充実させることが大切。

【豊かな心】(徳:ゆう気)

<検証データ>

学校評価アンケート(全学年)

熊本県「心のアンケート」(全学年)

<CS活動と児童会活動による活躍の場>

R5重点テーマ

3つの出会い…「本」「人」「旅(体験)」

「CS活動の認知」+18.9(63.5%→82.4%)

「地域人材の活用」+14.3(79.8%→94.1%)

CS活動の充実が、児童会活動の活性化や保護者の学校行事への参画意識の向上に波及。

「楽しんで登校している」(94.1%)

「何事にも頑張っている」(96.4%)

「家庭や地域であいさつができる」(95.3%)

「周りの友達と仲良くできる」(94.1%)

が9割を超えるなど、児童の活躍の場の創出にもつながった。

<心のアンケート>

いじめられたことがあると回答した23人に対し、本人確認及び保護者連絡し、状況把握、いじめの認知、今後の対応について協議した。今後もいじめの積極的な認知、いじめられていることを誰かに話せる風土の醸成に取り組む。

【健やかな身体】(体:根気)

<う歯治療率>

約9割の児童が「う歯治療済み」。

町内でも群を抜く。家庭の健康意識が高い。

<今後の方針>

自分の体を大切にすることは、自分の心を大切にすることや自分の人生を大切に生きることにつながる。そして、自分と同じように、友だちや家族を大切に生きていく姿勢を育む基盤となるよう継続的に支援する。

<メディア利用による生活習慣への影響>

メディアの長時間利用による就寝時刻の遅さ等、生活習慣が乱れたことで心身の不調を招き「欠席」「登校渋り」に至る児童が見られた。

<今後の方針>

限られた家庭での時間をどのように過ごすことが、健全な育成につながるか、子どもたちと対話して、各家庭でのマイルールづくりを促したい。一度決めて終わりではなく、困ったことはないか、また、時にはメディアに関する気になることを話題にするなど寄り添ってほしい。親子と一緒に過ごせる限られた時間を、漫然とメディアに奪われてしまわないようにしたい。

「竜西フェスタ」や「授業参観」で一年間の学びの成果を発信!

～子どもたちの成長を認め、喜び合う機会に～



2月は、1年間の様々な学習内容を友だちや家族、そして地域の皆さんに発信する「竜西フェスタ」や本年度最後の「授業参観」を行っています。これまでの学びを通して考えたことやわかったことなどを発表する姿に、子どもたちの内面の成長ぶりや地域への愛着が深まっていること、自己実現に向けた意欲が高まっていることが感じられたことと思います。今年も、子どもたちの成長を認め、互いに喜び合う貴重な機会となりました



←コロナ禍前に実施されていた「PTAバザー」が復活しました。短い準備期間でしたが、大盛況でした。PTA役員の皆さんお疲れ様でした!

「これからを生きる子どもたちへ」

～未来を生き抜く私たちにこれから求められる力～

本年度、最後の校長講話を行いました。「これからを生きる子どもたちへ～未来を生き抜く私たちにこれから求められる力～」と題し、自分の将来について考えたり、ソサエティ5.0に関する画像をもとに、私たちがこれから生きる未来について想像したり、今起きている社会や学校の変化について考えたりしました。

そして、未来を生き抜く私たちにこれから求められる力として、読み、書き、基本ITスキルといった「**基礎学力**」、仕事に必要な「**専門知識**」、倫理観やマナーといった「**人間性**」に加え、これらの力を活かす「**社会人基礎力**」必要性であることを確認しました。すべての子どもたちが真剣に聞く姿に、話しながら胸が熱くなりました。

